

主題：
ヨハネの繕う務め

メッセージ 9

拡大した、宇宙的な神・人の合併としての父の家の中で生きる

聖書：ヨハネ14:1-6, 12, 20. I テサロニケ1:1. I ヨハネ3:1

- I. ヨハネによる福音書第14章の中心思想は、わたしたちが神の中へと信じ、それによって神の中へと入らなければならないということです——1節：
- A. 主の中へと信じることによって、わたしたちは彼の中へと入って、彼と一となり、彼にあずかり、彼がわたしたちのために行なったすべてのことにあずかります——3:15。
 - B. キリストの中へと信じることによって、わたしたちは彼であるすべての中で、また彼が経過し、成し遂げ、到達し、獲得したすべてのことの中で、彼と一体化されま——16節。
 - C. キリストの中へと信じることを通して、わたしたちはキリストと有機的な結合を持ちます——15:4-5。
 - D. キリストの中へと信じることは、わたしたちの存在が彼と合体させられて、両者が有機的に一となることです——ピリピ1:29. I コリント6:17。
- II. ヨハネによる福音書第14章1節から6節で、わたしたちが見るのは、死を通してイエスが行くこととキリストが復活の中で来ることが、わたしたち信者たちを父の中へともたらすためであるということです：
- A. 主イエスが行ったのは、ある場所ではなく、一人の生けるパースンである父ご自身でした——12, 28節。
 - B. 主は父へ行きましたが、その意図は彼の弟子たちを父の神聖なパースンの中へともたらすためでした——5-6, 12, 20節：
 - 1. 主は肉体と成ることによって父から来て、神を人の中へともたしました。また彼は父へ行きましたが、それは人を神の中へともたらすためでした——1:14, 14:20。
 - 2. 彼の行く道は死と復活によりましたが、彼が行く目的は人を父の中へともたらすことでした——6節。
 - C. 2節の「わたしは行く」という言葉は、死と復活を通して主が行ったのは、神の住まいの建造のために、人を神の中へともたらすためであることを意味します。
- III. ヨハネによる福音書第14章2節の「わたしの父の家」はキリストのからだ、すなわち、神の家としての召会です：
- A. 第2章16節では「わたしの父の家」は地上における神の住まい、すなわち、宮を指します。宮はイエスの肉体の予表、型であって、それは復活の中でキリストのからだへと拡大しました——19-22節。
 - B. 第14章2節の「わたしの父の家」は天を指すのではなく、地上における神の住まい、

- すなわち、召会であるキリストのからだを指します。
- C. 書簡において、キリストのからだは召会であり、また召会が神の家であるという啓示は十分に発展しています——I テモテ3:15-16. エペソ2:21-22。
- D. 父の家はキリストのからだであって、それは地上における神の住まいとしての召会です——1:22-23. 2:21-22. I テモテ3:15-16。
- IV. 父の家には多くの住まいがあります——ヨハネ14:2 :**
- A. 多くの住まいは、キリストのからだの多くの肢体であって、それは神の宮です——ローマ12:5. I コリント3:16-17。
- B. キリストにあるすべての信者は神の建造、父の家の中の住まいです。この建造はキリストのからだであり、すべての住まいはキリストのからだの肢体たちです——エペソ1:22-23. 2:21-22. 5:30. I コリント12:27。
- V. 「わたしが行って、あなたがたのために場所を用意したなら」とは、主が場所を用意し、贖いを達成し、道を開き、わたしたちが神の中へと入るための地位を築くことを意味します——ヨハネ14:2-3, 6 :**
- A. 死と復活によって、主イエスは道を開き、場所を用意しましたが、それはわたしたちが神の中へともたらされるためです——20節。
- B. 彼の死と復活によって、彼は神の御前で、神の中で、わたしたちのために地位を用意しました。このようにして彼は神の中で、わたしたちのために場所を用意しました——2-3, 6節。
- C. 神の中での地位は拡大されて、キリストのからだの中での地位となります——ローマ12:4-5. エペソ5:30. I コリント12:27 :
1. 神の中での地位、場所を持たない者はだれでも、キリストのからだの中での地位を持っていません。キリストのからだは、父の家、神の住まいです——エペソ1:22-23. 2:21-22。
 2. キリストにある信者として、わたしたちはみな神の中で場所を持ち、またからだの中で場所を持っています。今、わたしたちはキリストの死と復活を通して、わたしたちのために用意された場所の中で生きるべきです。——ヨハネ14:2-3, 20. I コリント12:27。
- VI. 父の家である召会は父なる神の中にいます——ヨハネ14:2, 20. I テサロニケ1:1. II テサロニケ1:1 :**
- A. 召会が父なる神の中にいるために、神はわたしたちにとって父とならなければならず、そしてわたしたちは神と命の関係を持つ必要があります——ヨハネ20:17 :
1. 新約において、父は命の源を表します——5:26。
 2. 「神」という称号は創造に言及しています。「父」という称号は命の分与に言及し、命の関係を示します——20:17 :
 - a. 命の源である父は、命の増殖、拡張のためです——I ヨハネ3:1。
 - b. 神はもはや単なるわたしたちの創造主であるだけではありません。彼はわたしたちの父、わたしたちを生む方でもあります。なぜなら、彼は彼の命をもってわたしたちを生んだからです——ヨハネ1:12-13。
 - c. わたしたちは神をわたしたちの父と呼びます。なぜなら、わたしたちは彼から

生まれたので、神をわたしたちの父と呼びます。そして、今や、わたしたちは彼の子供たちとして、彼と命の関係を持っています——ローマ8:15-16。

3. 主は彼の命を解き放つ死と命を分け与える復活を通して、わたしたちを彼と一とならせました。彼の父は今やわたしたちの父です——ヨハネ20:17。

4. 主イエスは彼の死と復活によって、わたしたちを彼の中へともたらしめました。彼が父の中にいるので、わたしたちは彼の中にいることによって、父の中にいます——14:20。

B. 召会が父なる神の中にいるとは、召会が、唯一の源、創始者、発起人である方の中にいることを意味します——I コリント8:6:

1. 父である神を知ることは、あらゆることが彼から始まり、またあらゆることが彼から出ているということです——マタイ15:13. ローマ11:36。

2. 召会生活の中で父は唯一の源であるべきであり、わたしたちはみな彼の唯一の定められた御旨とご計画の中にいるべきです——II テモテ1:9. ローマ8:28。

© 2017 Living Stream Ministry